昭和26年5月20日（日曜日）　第297號　磐城毎日新聞

（一）可認郵便物認第621號　第三種郵便物認可（昭和二十五年十二月六日　毎日新聞社特別寫眞版國際版）

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市15丁目12番地
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円　1部2円
【夕刊・月曜休刊】

九中小炭礦勞組代表

組合員の生活安定に斗爭

十九日午前十時より勞働會館に常磐、古河好間、隅田川、重内、山一、須藤、三和、小野田、朝倉の九炭礦の勞組代表が參集、去る二十四年九月配炭公團廢止以降急速に見まわれた中小炭礦の經濟危期、休山、廢山の止むなきに達した炭礦、若しくは賃金の未拂、遲拂等に關して勞組自身の立場より建設的に積極的に炭礦防衛のため、ひいては社會主義社會建設の爲に斗爭、努力を續けて來たが其の間における斗爭の經過其の他を詳細に且綿密に檢討を加え防衛斗爭より攻撃斗爭え切りかえるべき結論に意見の一致を見こゝに炭礦勞組は新しい段階に立ち斗爭を續ける事となつた

農業委員の選擧打合

石城地方事務所では二十六二十八の兩日郡内の町村選擧關係者を地方事務所に集め農業委員の選擧に關する事務打合會を行ふ

果樹栽培に具体化ねる

石城地方事務所では地方農家の重要な財源である果樹栽培に力を入れ果樹を振興せしめる意味において具体的な方策につき果樹振興協議會を行ふ

縣下五市の選擧管理委員會

二十五、二十六の兩日平市役所會議室において縣下五市の選擧管理委員會が開かれる、議題は各市持寄で市平の提案事項は現在立案中

平商業研究會總會

平商工會議所では十九日午後七時より七十七銀行會議室に於て、平商業研究會總會を開き庶務報告、二十五年度決算報告、二十六年度計劃、規約の一部變更などについて審議する

銃砲違反で送檢さる

石城郡内郷町大字綴字町の内無職酒井平太郎(八)は十七日午前七時頃窃盜並に銃砲刀劍等取締違反で同町署より十九日送檢された

世界館など表彰さる

優良特別徴收義務者

昭和二十五年度縣税の優良特別徴收義務者に對する感謝狀は去る三日憲法發布の日縣知事より贈呈されたが石城地區管内十名に對する感謝狀傳達式は二十四日地方事務所において行われる感謝狀を受けたもの左の通りである

▲映畫關係　坂本アキ（江名町）小野直千賀（小名濱町）鈴木寅次郎（平市）

▲旅館關係　小湊正（四倉町）水竹泰助（平市）牧野進（植田町）

▲料飲店關係　田中晴子（平市古川清吉（平市）

▲料食店關係　金成一（平市）今關友次郎（植田町）

表代區地城磐

平商高前半有利後半不利にて

若松球場に

万斛の涙を呑む

朝日新聞社後援第三回春の縣下選抜高校野球大會は十九日若松市營球場において午前八時半より縣下各地區代表八校が參集第一戰は地元代表平商對原高を以て大會の幕は切つて下された郡下の衆望をになふ平商は大井川投手のスベリ出しよく三回まで原高の打者を完封先に三點をリードしたが、四回三つの四球を與えてから全く混亂一點を奪われ變つた、リリーフ鈴木もコントロールなく三點をとられ、こゝに四對三と形勢は全く逆轉し平商の後半の善戰も空しく會津若松球場に涙を呑んで、原高の軍門に下つた、平商敢斗あえなく第一戰に破るされど前途遠遠し來るべき夏期大會えの奮勵を祈るのみ

迎歡稿投

濫伐をふせぐ

民有林施業案の審議會

山林の濫伐が相つぎ洪水頻々として續出する昨今の現狀に鑑み平市では平窪、神谷、飯野の三地區より事務囑託員二十一名に十九日市役所會議室に參集を求め民有林施業案に關する審議會を開催平市の林業經營に關して各地區の意見を聽取し施業の運營に完璧を期する事となつた

里親の苦心談を聞く

十五名から

石城地方事務所では二十二日午後一時より平市及郡内の里親の人達約十五名を集め里親としての苦心談などに關して懇談會を開く

永井中學校落成式

永戸箕輪村永井中學校落成式は二十七日午前九時より同中學校において盛大に擧行される、工費三百五十萬圓坪數二百二十五坪二階建の堂々たる校舎で完成した

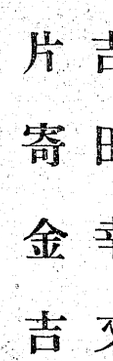
農業改良に關して審議

十九日午後一時より平市役所では神谷、平窪、飯野の三地區の農事關係者を平市役所に招き農事改良に關して種々審議する事となつた今後農事改良協議會（假稱）なるものの準備會として斯業の發展に寄與するもの大なりと各方面より期待されている

現金二千圓スラる

錦町江栗六〇番地吳羽化學社員星秀一(三三)さん妻八重さんは常磐線下り平着九時五七分列車で平へ來る途中湯本より乘車した三十五六才のブローカー風の女に現金二千百圓金融金庫書類な

今晩は北東の風曇りで一時雨



時間の出る天氣

二十日は北東後南よりの風に變り日中は晴だが後曇の天氣

海上沿岸は穩やかだが沖合は時化氣味ですから小型漁船は注意

祝 磐城毎日 一週年記念

永戸村　箕輪村　**組合役場**

組合長　大和田嘉男
助役　遠藤延夫
收入役　平山勇太郎
議長　合津義雄
副議長　高萩凱
松崎乙丸
野口春男
萩野久藏
藁谷長德
平山榮
草野貞良
藁谷喜知平
根本國光
柴崎初義
阿部卓彌
藁谷金大
大和田捨男
吉田幸文
片寄金吉

農業協同組合

組合長　合津義雄
專務　草野榮

(二) 第三種郵便物認可 昭和25年7月6日 昭和26年(1951) 磐城毎日新聞 5月20日 (日曜日) 第297號

小名濱臨時議會

助役は重任と決定

特別委員會委員もきまる

小名濱町では既報の如く、十八日午前九時より第八百五十七回町議會臨時會を開き報告一、議案一より、第六迄、審議案第一より第三に至る十案件であつた、第一號案件、專決處分承認の件であつた、第二號案は、助役改選に伴ふ、助役選任であつたので、町長は現助役の重任を以て臨み承認をもとめた、二十番立花議員は助役重任は異議ないが、一般町民からの噂は、民衆に對して聊か傲慢の態度であると言はれて居る樣だらこの點に留意して水野町長の眞の女房役として、町進展のために盡されたいと云ふ贊成論があつたので、滿場拍手を以て承認した、議案第二號案は氣象信號塔の寄附の件に即決可決した、議案第三號が特別委員會は港灣對策委員會、工場誘致委員會、失業對策委員會の三本建てで進む事となり、選擧の結果は、港灣對策委員としては、比佐政種、高木嘉一郎、齋藤誠吾、西丸猛、立花秀治、林林平、野崎貞行、小野直千賀、工場誘致委員としては箱崎瀧三郎、小林仁一郎、菅原勲、飯田宗秋、小野務平、木田宏平、飯塚新四郎、橋本佐多壽、失業對策委員としては松原文吾、木村祐、金澤勉、鈴木いせ、飯塚勝、小松勇吉、藤社大一、長瀬啓一、正副委員長は再選の結果、港灣對策委員長は野崎小野(直)兩議欠席のため再選の延期を見るに至つたが工場誘致委員會は正 小野務平、副 小林仁一郎 失業對策委員會は正 木村祐 副藤社大一と決定承認した、第五號案消防委員の選任に就ては、橋本佐多壽、藤社大一、木田谷平、の三氏が當選した更に第六號議案の公安委員の選任は渡邊二男雄(舊玉川)氏に決定を見た、益々大詰めとなつて、第二小議堂建築委員として第四、五の選出議員これを擔當し正木村副飯塚、高木の兩氏決定、第二中建築委員としては第一、二、三の三區選出議員にして、正藤社大一、副小林仁一郎の兩議に決定した、時に午後四時半議案の終了を見て開會となつた

軒下から 中古自轉車盜すむ

內郷町白水字入山八番地無職前科五犯木村治(三〇)は去る三月五日同町字宮澤福田良太郎さん軒下から同字の菓子商管野篤きんの中古自轉車一台を窃盜した事が發覺し十七日内郷町署に捕えられた

優良赤ちやんに 表彰さる勿來で

勿來町では役場會議室に於て五月十八日午後二時より過日行はれた赤ちやん會に於て審査の結果發育優良にして衆兒の範とする十三名に對して表彰式を行ひ青天目勿來町長よりそれぞれ表彰狀が授與された表彰された赤ちやんの氏名は左の通り

渡邊勉、伊藤善孝、吉成隆壽、池田登、加藤アケミ、沼田理惠子、遠藤幸子、秋元信子、赤津美江子、櫛田忠男、小松義孝小野仁等で同日は兒童福止週間の最終日であつた

暴行男送檢

平市四丁目五十四番地川徳水店員村上淸(二一)を暴行罰で十七日市署より十八日八時送檢された

平工高PTA開く

平工業高等學校PTA總會は二十四日午前十時より平工高において開かれる、昭和二十五年度の予算決算の報告及役員改選について協議される

傳染病

小名濱町大字野田農業技術員松本文雄(三二)さんは、十三日發病し十八日腸チフスと決定され同日隔離された

公共事業の指導の打合

敎委石城出張所では二十一日午前十時より平一小作法室において昭和二十五年度公共事業經理指導並二十五年後國庫補助申請に關して各關係者を招き事務會合打を行ふ

米飯提供者の 價格がきまる

米飯の登錄については昨報の通りであるが市販の價格はほゞ次の通り內定した、

△飯百三十グラム十圓
味噌汁一椀 十圓
漬物 五圓
一皿料理(最高)五十圓
丼物(最高) 八十圓

スポーツ欄

▲來る二十六日午前九時より內郷町小中高學校職員親善野球及排球大會を二中グランドで行う

▲平市連合青年會主催なる區對抗親善野球の第一日は十九日平商、平工兩グランドで行うばずだつたが雨天のため二十日に延期され當日第一試合は大工町對八幡小路の一戰で始められる

▲石郡アマチユア高校体育連盟により來る六月十日と二十四日籠球、排球、卓球庭球、陸上競技を行うが參加チーム人員は、各高校運動部に屬しない者で學年ごとに試合する

▲郡下で二十九日午前九時より錦クレハ化學工場及中學校に於てスポーツ關係者を集めてスポーツバッチテスト講習會を開く

▲二十日双葉郡富岡町小學校で建設協會野球大會について平市では土木監督所と平建設事務所が參加する

▲二十日平市營球場で酒造協會親善野球が開かれるが參加チームは各地區の代表で郡山酒造、耶麻酒造、須賀川酒造、若松酒造、相双酒造協會、白河酒造、福島縣卸組合の各チーム

映畫案內

腰抜け大捕物

ビング、クロスビイに代つて一九四九年度にはハリウッド、スターの人氣の王座についたコメディアンボッブホープが今賣り出しの人氣スター、ロンダ、フレミングを相手に得意な笑ひを振りまくパラマウント作品バリーに絞殺事件が起つた兇器に使つたナプキンの結び具合から見てヒギンズ探偵はまさにあいつに違いないとにらんだ、見知らぬ男と顔見知になりポーカーで大勝をさせた揚句首を絞めて金をまき上げてしまうこの犯人を探偵長はかねがねつけねらつていた數日…マルセイユからアメリカへ歸つたハンター(ボッブ・ホープ)は船中で美しい公爵令孃アレクサントリア(ロンダ・フレミング)と彼女の父マギシミリア(ローラント・カリヴー)と親しくなりだがいま一人の男ダブニイ(ローラント・カルヴアー)と言う者でダブニイはハンターをカモにして大公から大金を卷き上げハンターを絞め殺そうとするが逮捕されハンターと令孃に將來を誓い合つた、二十二日より二十七日迄 (聚樂館)

初戀トンコ娘

平凡五月號所載より伏見晃齋藤寅次郎のコンビが東京キツト、海を渡る千萬長者に續いて放つヒツト喜劇陣から柳家金語樓、川田晴久、高屋朗…落語陣から昔々亭桃太郎、三遊亭圓歌、流行歌の近江敏郎、久保幸江がくりひろげる初戀娘は東洋電工の守衛の井上彥七は(柳家金語樓)守衛長となるのは時間の問題にあつたその社長(河村黎吉)は元氣がなかつた調べた所結婚の問題、彥七の姪の佐喜子(井川邦子)は東電の事務員で會社が終るとアルバイトに藝者となりまた社長の息子房雄(山內明)家を出て敎師をしながらやはりアルバイト艷歌師で知り合ひの仲昨夜社に泥棒が入つて彥七の職が鹹が危いところを佐喜子と房雄の協力で泥棒が捕まる、果して彥七廿數年の夢である守衛長には何時の日なれることやら? 十九日より (平館)

桃の花の咲く下で

最近この横町で身振りも面白く唄つて步く紙芝居の阿彌子(笠置シヅ子)は自轉車をとめて唄い人氣は大變であつたしかしこの邊一帶に以前から新兵エ、五万助(大山建二)とゆう古顔のために追い出しにかかるだが彼女には悲しかつたそれは自分の子供でいながら幸福な家庭の明坊(內田禮弘)だけが彼女の希望だつた明坊がふとしたことから怪我をして入院し良くなつたが明坊と彼女は一所に暮すことはできない…その頃彼女は桃の花の咲く下で今日明るく唄つていた 十九日より 平文化

錢形平次

業平橋の下に千兩箱を背負つた男の死骸が浮んだ、向う海岸の御用聞の石原の利助は病氣なので娘のお品、(日高澄子)が氣をもんでいるとガラ八(佐々木小二郎新人)の報告で平次長谷川一夫)は現場に馳けつけた屍体の袂にあつた手紙の切端から判じて、三浦某溪とゆう家をつけとめたがその某溪は何物かに慘殺されていた、その三浦家の姪だとゆうお榮(三條美紀)はひそかに平次に思慕を寄せたそして自分は六人組の頭目の娘だと明したその父は既に死んだと云う六人組の生き殘りはたつた一人になつた「ではその一人は?」お榮が一切を告げぬ間に魔手がのび平次の許に探索から手を退けという脅迫狀が舞い込み暗討をかけられた、だが留守をまもる女房のお靜(長谷川裕見子)はわらされてしまつた 二十日より (世界館)

△ △ △

御商談に!! 御宴會に!! 御家族御同伴でお氣輕においで下さい!
みかさ食堂
みかさ旅館
靜かな御座敷で一杯いかゞ……
紺屋町平文化隣 電465

皆樣の魚店
磐城名産 鰹節 鹽辛
丸市屋
平市四丁目 電話二一三番

本場=自慢
牛豚肉 配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一 電話五三九番
第二 電話七九四番

午前宅診 午後往診
內科 外科
小野醫院
院長 小野離
石城郡江名町北町一〇四 電話二〇七番

久
電 9 99 999
平五丁目

夏の香りをフイルムに
常に研究の店
飯田カメラ店
紺屋町 聚樂館向